

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	準用河川神明堀河川環境用水整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	準用河川神明堀沿線の市民	意図	公共下水道が普及し、枯渇する準用河川神明堀へ、江戸川より導水し、沿線住民に良好な水辺環境を確保する。
事業内容	一級河川江戸川から環境維持用水を導水し、準用河川神明堀（流山1号幹線）の水量の確保と水質の保全を図るものである。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道の整備により、水量が減少したため、水質の悪化と悪臭等の発生により、流域住民から環境改善要望が強まり、準用河川神明堀の水質改善が求められた。 平成22年度より環境用水導水事業を開始し、平成26年度より本格運用となった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	導水日数	41	95	55	日	→→
②	水質（BOD）	2.60	2.80	2.90	mg/l	→→	実績値（平均値）
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
天候や江戸川の水位により、導水日数は変動的である。
悪臭の苦情は、近年寄せられていない。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,363,171	3,459,289	2,494,614
事業費(b)(円)	2,019,921	3,123,689	2,165,014
うち一般財源	2,019,921	3,123,689	2,165,014
職員給与費(c)(円)	343,250	335,600	329,600
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・導水を定期的実施し、水質の保全に努める。	③取組における課題(Check)	・江戸川からの導水量及び導水日数を増やし、水質の保全を図る。
②H30に実施した取組(Do)	・導水日数を増やし、水質の保全に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・環境用水のほかにも水質改善の方法を研究する。